2025年9月1日
J.フロント リテイリング株式会社

2025年8月度　J.フロント リテイリング　百貨店事業　売上速報

※当社は2017年度から国際会計基準（ＩＦＲＳ）を任意適用しています。なお百貨店事業の店舗別売上高につきましては、ＩＦＲＳ売上収益のうち消化仕入取引を総額に置き換えた総額売上高で開示します。
※数値は速報値のため、毎月中旬に発表している確定報とは誤差が生じることがあります。
※百貨店事業以外の事業も含めた連結ベースによる売上収益報告につきましては、ＩＦＲＳの確定値により毎月中旬に開示します。

■ 店舗別売上高対前年増減率（%）

店舗	８月度	上期累計	店舗	８月度	上期累計
大丸 心斎橋店	10.9	▲5.2	松坂屋 名古屋店	6.3	0.7
大丸 梅田店	27.4	12.7	松坂屋 上野店	▲0.2	▲0.8
大丸 東京店	6.1	▲2.9	松坂屋 静岡店	7.1	1.5
大丸 京都店	▲3.9	▲12.4	松坂屋 高槻店	5.5	▲0.4
大丸 神戸店	8.3	0.1	**店　　計**	6.4	▲1.6
大丸 須磨店	▲6.0	▲1.7	法人･本社等	63.9	41.7
大丸 芦屋店	0.9	3.9	**大丸松坂屋百貨店合計**	8.6	0.1
大丸 札幌店	▲1.3	▲1.4	博多大丸	▲13.2	▲19.0
大丸 下関店	▲9.2	▲9.4	高知大丸	4.3	▲2.9
			百貨店事業合計	6.9	▲1.3

■ 概　況

・ ８月度の売上高は、８月後半も高い気温が続いたことにより、ブラウスなどの衣料品を中心に盛夏商品が好調だったことに加え、訪日外国人売上が前年実績を上回ったことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年8.6%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同6.9%増となった。
・ 店舗別では、１５店舗中９店舗が前年を上回った。梅田店が対前年約３割増となったほか、免税売上が好調な心斎橋店、神戸店などが対前年プラスとなった。
・ 大丸松坂屋百貨店合計の免税売上高(速報値）は、ラグジュアリーブランドなどを含む一般品が前年実績を下回ったことにより客単価が低下したものの、化粧品を含む消耗品が大きく売上を伸ばしたことなどから、対前年＋6.7%増（客数＋24.9%増、客単価同▲14.6%減）となった。

【参考】 ８月度の大丸松坂屋百貨店の店計売上（法人･本社等の本年･前年実績を除く）は対前年6.4%増、
うち国内売上高（免税売上高の本年･前年実績を除く）は対前年6.3%増となった。
大丸松坂屋百貨店合計（既存店）の免税売上高は対19年度、92.2%増、対18年度87.6%増であった。

お問い合わせ先　　Ｊ.フロント リテイリング株式会社　コーポレートコミュニケーション室
ＩＲ推進担当　　０３－６８６５－７６２１
グループ広報担当　　０３－６８６５－７６１６